

## 第4回 環境振動評価小委員会 議事録(案)

A. 日時 2009年11月4日 水曜日 17:30~20:00

B. 場所 建築会館 会議室

C. 出席者 益田主査、他9名

D. 提出資料(提出委員名も記入して下さい)

No.4-0 第3回環境振動評価小委員会議事録(案)

No.4-1 2010年度委員会活動計画案

No.4-2 環境振動の品確法への適用の提案

No.4-3 国交省プレゼンメモ

No.4-4 新博多駅ビル工事における活線下での防振軌道の設計・施工

No.4-5 今後の環境振動(提案者別)

No.4-6 今後の環境振動(キーワード分類)

No.4-7 環境振動問題に関する現状調査

E. 議事内容

1. 議事録確認(資料4-0)

◇ 承認された

2. 議論

1) 資料No.4-1(2010年度委員会活動計画案)について主査より説明

◇ 特に議論無し

2) 資料No.4-2(環境振動の品確法への適用の提案)について幹事より説明

◇ 2009年10月28日に行われた国交省へのプレゼン時に提出した資料

◇ 当委員会の沿革から、これまでに議論がなされた状況、および住宅性能表示への展開例を解説

3) 資料No.4-3(国交省プレゼンメモ)について幹事より説明

◇ 担当官(住宅性能表示担当係長河合氏)としても品確法の採用率(4割程度)に対し危惧

⇒ 現在対応を検討中、対策の1つは性能項目を減らすこと → 項目を増やすことは難しい

⇒ 品確法蹴られても設計法資料は独立させる価値が十分にあり

◇ 現状における社会ニーズの反映方法を検討する

⇒ メーカー側から間接的なアプローチを行うことも有効では?

⇒ メーカーに採用を検討させられるレベルのガイドライン等を学会にて提示することも有効では?

◇ 突然訪問した(事前アポは有)にも係らず、対応は丁寧かつある程度の興味は持って貰えたが…、環境振動が品確法へ採用されるまでの道のりは長そうである…

◇ 今後:これまでに得られた知見をもとに、より学術的な方向(刊行物等)へ展開することも検討

4) 資料No.4-4(新博多駅ビル工事における活線下での防振軌道の設計・施工)について主査より説明

◇ 情報提供

⇒ 今後、見学会等の開催も検討する

5) 資料No.4-5、6(今後の環境振動)について

- ◇ 主査:業界内基準(各社独自の基準を有しているハズ)の実態把握に努める
- ◇ A 委員:環境振動に関するリスクは一般消費者にとって、現状では「目に見えない」ものとなっている
  - ⇒ 諸問題を可視化し、一般消費者への説明性向上の一助なる資料の作成を検討
- ◇ A 委員:地域レベルでの広域に渡る環境振動の評価を行う(広域モニタリング)
  - ⇒ GIS(地理情報システム)等による可視化を検討
  - ⇒ 環境振動は時系列により変化するので、情報のアップデートも重要
- ◇ B 委員:環境振動に関する諸問題等をユーザーへ情報提供(可視化)
  - ⇒ 社会(ユーザー)のニーズへの対応、ユーザーとの対話を折り込む事
  - ⇒ 目標性能の提示には、高度な予測精度も必要になる
- ◇ C 委員:環境振動に関する人体の感覚評価の再考察
  - ⇒ 実験装置も向上したこと等により、新たに得られた知見を集積し検証を行う
- ◇ D 委員:居住者と実務者のコミュニケーションの向上
  - ⇒ 一般消費者にはイメージし難い環境振動を実際に体験してもらうなど
- ◇ E 委員:環境振動における人体の感覚・評価の検証を原点に立ち返り行う
- ◇ F 委員:環境省では、建設工事振動の現状把握調査を行っている
  - ⇒ 前述の広域モニタリングとのリンクの検討も興味深い
- ◇ G 委員:人体の感覚評価について
  - ⇒ 環境振動を対象とした人体の感覚反応について新たな知見の集積に努める
- ◇ H 委員:施工時の作業性と振動レベル他
  - ⇒ 現場作業員に対する環境振動の作業性・安全性の検討を行う
- ◇ I 委員:環境振動の実態把握
  - ⇒ 一般住戸を対象に実態調査(計測等)を行い、環境振動の現状の把握に努める

#### 6) 資料 No.4-7(環境振動問題に関する現状調査)について説明

- ◇ 環境振動に関する現状を社内にて調査
  - ⇒ 設計・営業部門、工事事務所にて行ったアンケート(有効回答数 890 名)
  - ⇒ 環境振動に対する対応の有無、振動の発生原因、顧客の評価結果への理解度等

#### 3. 次回以降の課題

- ◇ 今後の環境振動について(継続事案)

#### 4. 次回開催予定

- ◇ 次回委員会は、2010 年 1 月 29 日(金)、17:30～、本会会議室で開催予定

#### 5. 他(連絡事項等)

- ◇ 環境振動シンポジウム「設計フローと性能ランクの構築にむけて」が 2010 年 1 月 19 日(13:30～)開催